

船舶事故等調査報告書

平成24年11月22日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012広第89号
事故等種類	衝突（岸壁）
発生日時	平成24年3月24日 03時00分ごろ
発生場所	広島県呉市呉港広区 呉市所在の王子製紙呉港広導灯（前灯）から真方位184°340m付近 （概位 北緯34°13.3′ 東経132°36.9′）
事故等調査の経過	平成24年5月21日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	貨物船 ほうよし 宝吉丸、199トン
船舶番号、船舶所有者等	133925、株式会社本多
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海） 機関長、五級海技士（機関）及び五級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	本船 左舷側中央部から後部にかけてのハンドレールに曲損 岸壁 なし
事故等の経過	本船は、船長及び機関長ほか1人が乗り組み、パルプ約500tを積載して船首約2.60m、船尾約3.60mの喫水で平成24年3月23日朝方から呉港広区の岸壁に船首を東方に向けた左舷着けで係留索4本を取って係留中、南西からの強い風などの影響で船体が動揺し、24日03時00分ごろ本船左舷側後部が同岸壁に設置されていた防舷材に衝突した。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南西、風力 6 本事故発生時には、広島県南部に強風注意報及び波浪注意報が発表されていた。 海象：潮汐 下げ潮の末期、潮高 約76cm（広湾） 広湾では、3月23日22時14分に高潮時となり、潮高が約330cm、24日04時21分に低潮時を迎え、潮高が約42cmであった。
その他の事項	本事故当時には、出港の判断は実質の船長である機関長が行っていた。 機関長は、気象情報を入手していたが、広島県南部に強風注意報及び波浪注意報が発表されていることを知らなかった。 機関長は、気象情報を見て強い西風が吹くことを予想していたが、港が南に開いているので、船体が大きく動揺することはないと思って

	<p>いた。</p> <p>船長及び機関長は、本事故発生時には就寝していた。</p>
<p>分析</p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>なし</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>本船は、呉港広区の岸壁に満載状態で係留中、低潮時で船体が岸壁より下方となる状況下、南西からの風の影響で船体が動揺したことから、左舷側後部が岸壁に衝突したものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、夜間、本船が、呉港広区の岸壁に満載状態で係留中、低潮時で船体が岸壁より下方となる状況下、南西からの風の影響で船体が動揺したため、左舷側後部が岸壁に衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岸壁に係留中、風などの影響で船体が動揺することが予想される場合は、早めに沖出しするなどの対策を採ること。